

一般社団法人 おおさき青年会議所

2022年度 総務研修委員会基本方針

～内助之功～皆支え共に学ぶ

総務研修委員会 委員長 菊地 雄大

1. 基本方針

組織は共通の目標、コミュニケーション、貢献意欲の三つの要素で成り立ち、それらは例会など青年会議所活動の場において維持されています。その上でこれまで会員一人ひとりが青年会議所会員として運動を全うできたのは、会員の社業存続があったからです。私たちは、おおさき青年会議所の今後を見据え、運動活動の根幹を成す確実な会務運営や庶務を担い、志を高く持ち互いに支えあい謙虚に学び、会員の社業発展に繋げていくことが必要です。

まずは、運動活動を円滑に行う基盤を作るために、定款、運営規定を遵守しながら組織の模範となるような会議の設えや例会の進行を行うとともに、有益なデジタルツールを活用したハイブリッド会議や情報の共有を行うことにより、会員の意識が統一され、青年会議所としての質が高まることでより良い組織になるとともに、会員の社業にも活かされます。そして、おおさき青年会議所の会員一人ひとりが互いに青年経済人としての知識と見識を高め合うために、様々な知見を得られる研修の場を設けるとともに多様な会員同士だからこそできる会員の社業で得られた知識や経験を共有することで、主体性を持ち、やる気に目覚め、多角的視点から考察できる真の青年経済人となり、おおさき地域に経済的活力をもたらします。さらに、卒業会員をお見送りし、2022年度の会員の活動を労うために、卒業式ならびに1年の締めくくりとしての大忘年会を開催することで、卒業会員を送り出し、所属会員のこれからの帰属意識をさらに高め、おおさき青年会議所のより良い未来へとつなげます。

おおさき青年会議所は会員一人ひとりの質が高まり、会員の社業にも活かしながら志が高い人材を輩出し、地域に必要とされる活力ある団体であり続け、より良い未来へとつなぎ、胸を張って地域へ幸せを生み出し続ける青年経済人になります。

《常に学び共に歩む》

2. 事業計画

(1) 総会、理事会、例会の運営

【目的】

運動活動を円滑に行う基盤を作る

【手段・方法】

- ①定款、運営規定を遵守し、組織の模範となるような会議の設えや例会の進行を行う
- ②有益なデジタルツールを活用したハイブリッド会議や情報の共有を行う

(2) 青年経済人としての成長を促す研修事業の実施

【目的】

会員一人ひとりが互いに青年経済人としての知識と見識を高め合う

【手段・方法】

- ①様々な知見を得られる研修の場を設ける
- ②会員同士だからこそできる会員社業で得られた知識や経験を共有する

(3) 各種式典の実施

【目的】

卒業会員をお見送りし、2022年度の会員の1年の活動を労う

【手段・方法】

卒業式ならびに1年の締めくくりとしての大忘年会を開催する

(4) 例会主管（5月、6月、7月、12月）

【目的】

- ①会員一人ひとりが互いに青年経済人としての知識と見識を高め合う
- ②卒業会員をお見送りし、2022年度の会員の1年の活動を労う

【手段・方法】

- ①様々な知見を得られる研修の場を設ける
- ②会員同士だからこそできる会員社業で得られた知識や経験を共有する
- ③卒業式ならびに1年の締めくくりとしての大忘年会を開催する